

私が金融市場体験学習に参加を志望した理由は主に3点ありました。第一に、日本銀行と貨幣博物館の見学を通し、日本の貨幣の歴史を知識としてだけでなく、経験としても知りたいから。第二に、証券や株式が実際どのように取引されているのかを学び、証券や株式に対する漠然としたイメージを払拭し、能動的に金融市場に参画していきたいから。第三に、国の経済を大きく動かす場、グローバルな場で働く社会人の立ち居振る舞いを見たり仕事に対する考えを聞いたりし、これから自身がどのように働きたいのか、どのような人間になりたいのか、自身の将来を具体的に考えるための指針の一つとしたいから。私は2日間の体験学習を通じ、これら3つの目的を果たすことができましたと思います。

第一の目的は、日本銀行と貨幣博物館の見学で果たせました。特に日銀の見学では、歴代の総裁や建物の移り変わりを学んだほか、離れた場所からではありますが職員の方々の業務の様子を目にできたことがとても新鮮でした。

第二の目的は、証券会社での研修と東京証券取引所の見学において果たすことができました。トレーディング業務研修では、債券や株式の現場を具体的に教えていただきました。特に印象に残ったのは、トレーディングルームで実際の売買の様子を見たり、コンピュータに触れ、株の売買のシミュレーションを行ったりしたこと。現在の自分の日常生活においては直接関わることはない債券や株式ですが、私たちが新聞などで簡単に得られる情報が売買において重要な役割を担っていることがわかり、債券・株式を身近に感じるようになりました。また、グローバル研修では、3つの国の情報をもとにどの国の株を買うのがよいか一人ひとりプレゼンを行いました。多くの情報を総合的に評価しポイントを押さえ、相手にわかりやすく説明することの難しさを感じました。

第三の目的は、経済学部OBの方々とお話を通して果たせました。いまの社会では仕事のノルマと目標の捉え方が難しくなっているが、目標があるからこそ一生懸命仕事に取り組める。私はこれまで働くうえで数値目標があるかどうかは気になっていましたが、その有無を気にするのはもうやめようと思いました。また、OBからは今の大学生の時間は貴重なものなので様々なことを経験しなさいとご指導いただきました。この金融市場体験学習も大学生の今だからこそできた、自分の将来につながる大切な経験の一つであると思います。

今回の金融市場体験学習は非常に充実したものでした。私は卒業後、金融業界、特に証券会社や銀行に就職したいと考えております。しかし、証券会社はこれまでの私たちの生活になじみのないものだったので、実際に目で見て、仕組みを確かめてみたいと思い、参加させていただきました。この体験学習では、実際に様々な施設に出向き、体験することで、証券会社がどのような役割を果たしているのか、形のない商品とはどのようなものなのか、理解が深まりました。

この体験学習で特に印象に残っていることは、東京証券取引所の見学です。東京証券取引所は、私が思っていた以上に静かで、膨大な情報は全てコンピュータで管理されているのだと実感したと同時に、少し寂しいものだとも感じました。コンピュータ化は人々の負担にならず、決して悪いことはありませんが、昔のように手サインを使って株に取引を行う方が、エンターテインメント性があって面白いのではないかと考えました。証券会社でのトレーディング研修では、株の取引を間近で見て、臨場感を味わうことができました。社内に鳴り響く電話を受け、コンピュータ上で株の取引を行い、莫大なお金を動かす。まさに日本経済を動かすことのできるダイナミックでやりがいのある仕事だと思いました。また、最近日本だけではなく海外株を買う人も増えていると聞き、色々な国のマーケットを見なければならぬ、グローバルな仕事でもあるのだと感じました。

このように、この体験学習で私は、自分で勉強するだけではわからないような沢山のことを得ました。これらは就職活動だけではなく、これからの人生でも役に立つと考えます。